

1. 基本事項

作成日 令和03年07月02日(金)

施策		観光資源の整備と活用		期間	H. 30 ~ H. 4	施策担当部課名	商工振興課
第2次総合計画	行政計画分野別名	大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	施策の概要 (目的や対象)		観光資源を発掘・活用し、花園IC周辺エリア及び各道の駅を観光情報の発信拠点として来訪者の市内周遊を促すことにより、市民と来訪者の交流を活性化し、まちに新たな活気を生み出すことを目的とする。	
		中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
		小項目	200002 観光資源の整備と活用				
重要度及び満足度の状況	深谷市は一般的な観光地ではないが、市民は観光を重要施策とは捉えている。しかし、満足度については低い回答である。これは、単純に必要性の観点から低い回答となっていると考えられる。			施策の推進のための主な取り組み	「ふかや」の魅力を発信する		
施策を取り巻く社会状況等	大河ドラマ館などの観光資源や、各道の駅の観光情報を発信拠点として市民や来訪者の集約を図る必要がある。				来訪者が楽しめる空間づくりに取り組む 観光資源のネットワーク化に取り組む		

2. 評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	指標値（上段は目標値・下段は実績値）					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	市内観光入込客数	千人	-	4,083.44	4,165.11	4,248.41	10,833.38	10,918.00
	埼玉県観光入込客数調査（推計・暦年）		3,954.23	4,105.12	4,234.55	2,946.07	0.00	0.00
	年間延べ宿泊者数	千人	-	98.38	100.35	102.36	104.40	106.00
	観光予約プラットフォームによる宿泊実績		149.74	206.84	229.42	94.03	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	2	1：現状維持 2：拡充 3：縮小
<p><評価コメント></p> <p>コロナ禍ではあるが、観光情報の発信拠点となっている道の駅で、イベント等を開催するなど、観光入込客数を増やす取り組みを行っていく。また、アウトレットモール来訪者の市内回遊策として「深谷えん旅」事業と合わせて、史跡等の観光地や、野菜や物産品等を購入できる場所を巡るモデルコースを検討する必要がある。</p>		
評価者		商工振興課長 岩田 展雄

4. 改善・改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な改善策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充 <input type="checkbox"/> 事業の新規立案 <input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編 <input type="checkbox"/> その他	<p>「ベジタブルテーマパーク」や大河ドラマ館との連携など、テーマ性のある観光戦略を展開し、市外からの誘客を図る。また、アウトレットモール来訪者に市内回遊してもらえようモデルコースを作成する。引き続き、道の駅を核とした観光入込客数アップを図るほか、観光資源を活用した体験プログラムを深谷えん旅事業が通年化したことにより、参加事業者や実施プログラムを通じて実施していく。</p>

5. 二次評価

<p><所属長の見解></p> <p>本市観光拠点の一つとなっている道の駅では、コロナ禍ではあるが、指定管理者の企業努力や道の駅はなぞののリニューアルを実施。さらには道の駅おかべにおいても、新たなレストハウスを建設し、集客アップに努めている。体験型プログラム「深谷えん旅」事業では、通年化への移行により、年間を通して各プログラムを提供できるようになったことから、事業者数を増やすべくホームページからの情報発信の強化を図る。</p>	
所属長	産業振興部長 佐藤 靖彦